

一般質問通告書

佐野市議会議長 様

平成 30 年 2 月 19 日	受理者印
午前 午後	10時31分 受理 

議会名	平成 30 年 第 1 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 4 番	氏名	木村 久雄
答弁を求める者（選択してください）	☒ 市長 ・ ☒ 副市長 ・ ☒ 教育長 ・ ☒ 担当部局長		
質問方法（いずれかを選択してください）	☒ 一問一答 ・ ☐ 一括質問一括答弁		
大項目（質問項目） 中項目（質問細目）	小項目（具体的な質問内容）		
1. 読書環境の向上について (1) 合理的配慮の提供について	①<u>図書館における合理的配慮の提供について</u> 「障害者の権利に関する条約」とそれを受けて制定された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」では、2016 年 4 月から行政機関は合理的配慮を行うために環境整備に努めなければならないこととなっている。 ゆえに、図書館における合理的配慮の提供について、本市は、どのように考え、どのような取り組みをしていけるのか、伺いたい。 ②<u>LLブックの普及について</u> LLブックは、知的障がいや発達障がいのある人などが読みやすいよう、写真や絵、絵文字、短い言葉などで構成された本であり、「LL」は、スウェーデン語で「やさしく読みやすい」を意味する。 この本は、障がいのある方のみならず、認知症の方にも有用で、そのためか、導入している自治体も多い。 ゆえに、本市の図書館における合理的配慮の提供に寄与するものとして、市立図書館及び学校図書館において、LLブックの取り扱いを推進出来ないものか、伺いたい。 ③<u>エレベーターの設置について</u> 身体障がいのある方や高齢者の方などが、図書館の1階から2階へと行き来すのには、大変な労力を伴う。 そこで、このような方々に対する合理的配慮の提供の一環として、エレベーターを設置し、図書館のバリアフリー化を図れないものか、伺いたい。		

(2) 市立図書館のトイレの洋式化について	平成 28 年度の「図書館等指定管理事業」の事務事業マネジメントシートには「トイレの洋式化への要望が多数あった」と記載があるが、図書館のトイレの洋式化については、今後、どのようにしていくのか、伺いたい。
(3) 学習スペースについて	受験シーズン等で人が集まった場合、図書館の学習スペースが足らなくなることはあるのか、あるならば、それにどう対応していくのか、伺いたい。
(4) 雑誌スポンサー制度について	雑誌スポンサー制度については、市立図書館のホームページや広報さの等で周知啓発を図ってきたが、スポンサー数は、依然として伸び悩んでいる。 そこで、このような伸び悩みを改善するために、企業、団体等への直接的な情報提供が出来ないものか、伺いたい。
(5) 読書通帳について	①読書通帳の利用状況および読書通帳がもたらした効果について 読書通帳の利用状況および読書通帳がもたらした効果について伺いたい。 ②読書通帳の充実について 機械を使い読書通帳に記帳する方式への移行等、利用者の読書のモチベーションをあげるような取り組みが出来ないものか、伺いたい。
(6) ビブリオバトルについて	ビブリオバトルは、ビブリオバトラーと呼ばれる発表者が、推薦したい本を 1 冊持ち寄って、その面白さについて 5 分程度でプレゼンテーションを行い、「どの本が一番読みたくなったか」を参加者の多数決で決定するという知的書評合戦である。 最近では、2 月 18 日に宇都宮市南図書館において、このビブリオバトルのイベントが開かれたが、この取り組みを公立図書館等で導入する自治体は、近年、増えている。 ゆえに、本市でもビブリオバトルを行い、図書館の活性化や読書率の向上を図れないか、伺いたい。
(7) 市立図書館の 3 館体制について	本市には、市立図書館が 3 館（佐野・田沼・葛生）存在するが、施設の維持管理、運営及びそれらにかかる諸経費や施設および施設内の設備等の老朽化等の様々な点を考慮すると、将来的には、この 3 館体制を見直さなくてはならない事態が生じてくると考える。 ゆえに、市立図書館の将来的なビジョンについて、現時点で回答できる範囲でお答えをいただきたい。

2. 太陽光発電設備に関する防災対策について (1) 災害対応について (2) ハザードマップとの兼ね合いについて (3) 太陽光発電設備の維持管理について	①太陽光パネルの破損被害の市民対応について 太陽光パネルが破損被害を受けた際、感電や有害物質の発生等が懸念されるが、このような事態が生じた場合、市民への対応は、どうしていくのか、伺いたい。 ②太陽光パネルの破損被害に対する市民への注意喚起について 上記①の事態発生に対する市民への事前の注意喚起をどうしていくのか、伺いたい。 ③雨水対策について 山の斜面に太陽光パネルを設置している箇所では、豪雨時に土砂の流出が懸念される。実際、本市でも昨年の7月に土砂の流出被害があったが、このような事態から市民を守るためには、的確な雨水対策が必要と考える。 ゆえに、太陽光発電施設において、雨水対策が的確かつ着実に行われているか、伺いたい。 上記の質問3点を考慮した場合、災害時に危険な太陽光発電設備の場所もハザードマップに反映させるべきと考えるが、本市は、どのように考えているのか。 平成29年3月31日以前に認定を受け、改正FIT法の施行により、「みなし認定」となった太陽光発電設備では、平成30年3月31日までに、標識の掲示、柵塀等の設置を行わなければならないが、それが期日までに行われなかった場合、どのような対応をしていくのか、伺いたい。
3. アレルギー対策について (1) 放課後こどもクラブにおけるアレルギー対策について	①アレルギー対策研修について 放課後こどもクラブの児童支援員へのアレルギー対策研修は、行われているのか、伺いたい。 ②訓練について 放課後こどもクラブでは、アレルギー症状が発症した場合を想定した訓練を定期的に行っているのか、伺いたい。

(2) 小中学校におけるアレルギー対策について

① 校内研修の現状について

小中学校におけるアレルギー対策についての校内研修の現状を伺いたい。

② エピペンの保管・管理について

アレルギーの児童生徒が学校にいる間、対象児童生徒の保有するエピペンの保管・管理がどのようなになっているのか、伺いたい。